

漁海況速報

3-No. 4 4

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和4年 2月 4日～ 2月10日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東30マイル付近を北東に流れ、 $36^{\circ}20'N$ $142^{\circ}30'E$ 付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、 $11\sim 15^{\circ}C$ 台の水温となっている。

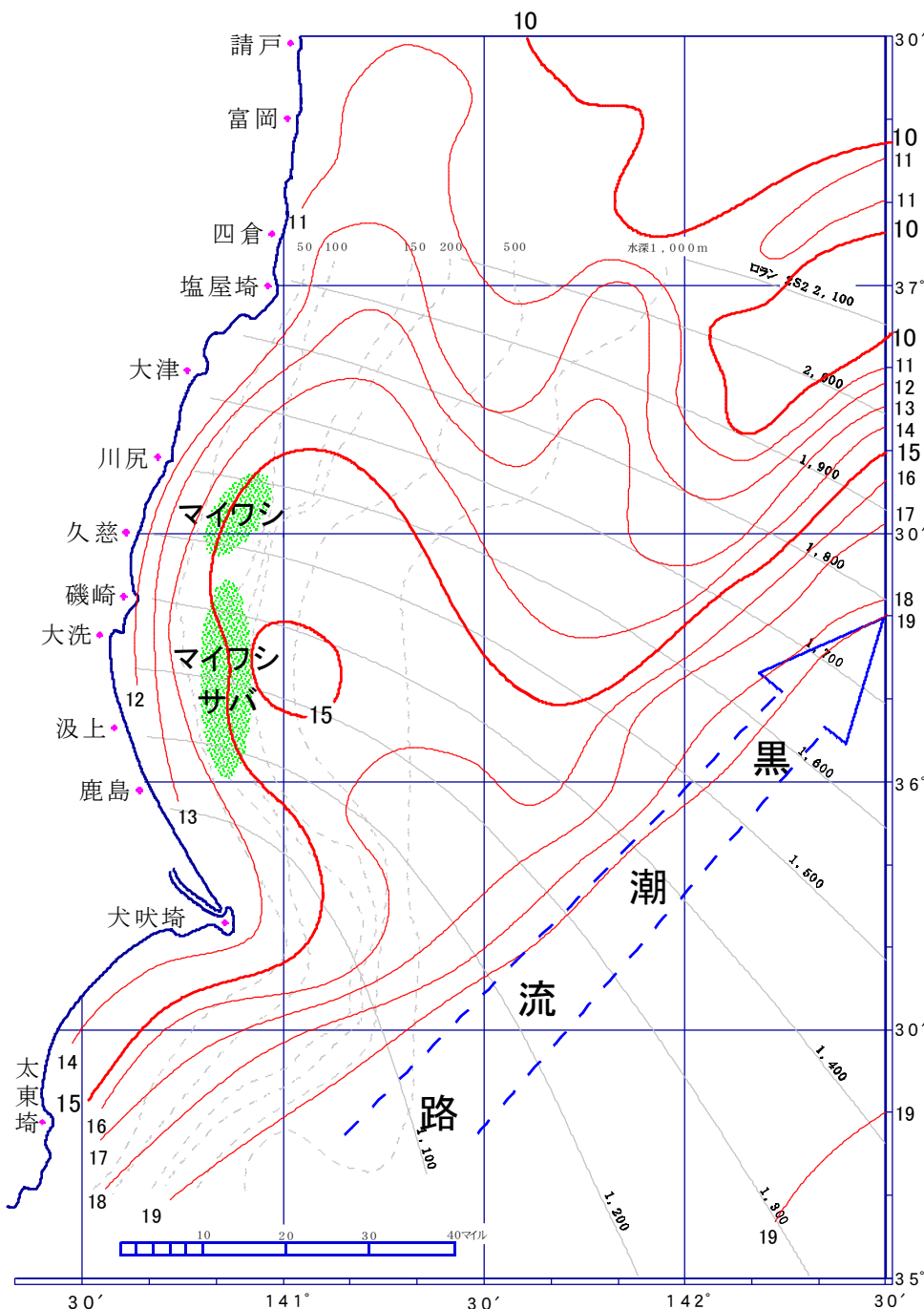
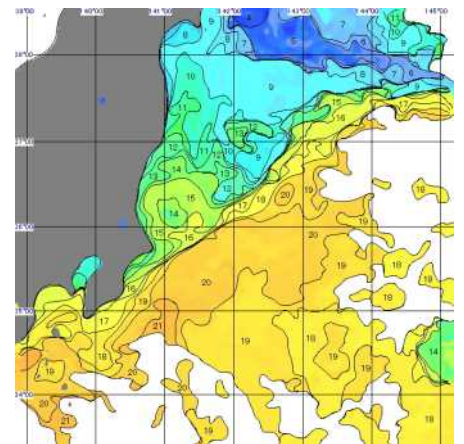
那珂湊定地水温 (°C)

日	令4	令3	平年
2/4	12.0	12.7	10.3
5	12.2	11.9	10.3
6	11.9	12.3	10.3
7	11.8	12.2	10.3
8	12.2	11.9	10.2
9	11.8	11.6	10.2
10	11.8	11.6	10.2
平均	12.0	12.0	10.3

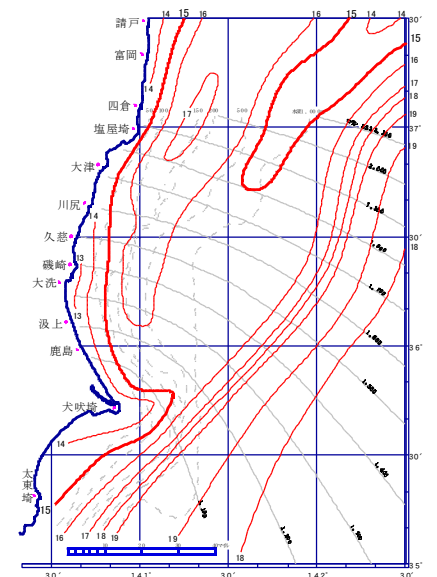
30年平均: 1991~2020年

令和4年 2月 4日～ 2月10日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和 3年 2月 5日～ 2月11日

【海況図】

漁況の特徴

3 - No. 4 4

属地、単位=四捨五入

2/3~2/9

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
本ジラス	船曳網	久慈町	155	1,648	255,400	5
		大洗町	164	1,633	267,971	19
シラス	船曳網	久慈浜丸小	86	1,100	94,600	4
		大洗町	1,088	237	257,450	19
サヨリ 大 サヨリ 中 サヨリ 小 サヨリ	船曳網	平潟	106	1,550	164,172	
		"	189	598	113,180	
		"	291	317	92,294	
		大津	1,296	443	574,356	
		久慈浜丸小 久慈町	282 499	1,030 1,064	289,815 531,207	
ヒラメ	小底5t以上 " 固定式刺網 " その他釣り " 船曳網	大津	2	400	880	
		久慈町	5	526	2,420	
		那珂湊	956	883	843,830	
		大津	115	728	83,995	
		大津	79	648	51,230	
		久慈町 那珂湊	78 419	948 773	74,170 323,665	
マコガレイ	小底5t以上	那珂湊	8	410	3,280	
イシモチ	小底5t以上	那珂湊	5	338	1,620	
タイ類	小底5t以上 " 船曳網 " その他釣り	大津	18	128	2,334	
		久慈町	23	277	6,370	
		那珂湊	689	331	227,860	
		那珂湊	14	724	9,780	
スズキ	小底5t以上 " その他釣り	那珂湊	307	215	65,978	
		那珂湊	5	216	970	
アイナメ	その他釣り	大津	2	500	950	
アンコウ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	316	188	59,395	
		大津	329	211	69,499	
		久慈町	740	229	169,550	
		那珂湊	461	365	168,155	
スルメイカ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	828	260	215,450	
		大津	(95)	3,016 (山売)	287,125	
		久慈町	52	402	20,925	
		那珂湊	152	524	79,620	
ヤリイカ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	31,203	411	12,836,120	
		大津	(215)	11,353 (山売)	2,435,289	
		久慈町	11,172	722	8,067,580	
		那珂湊	3,153	640	2,016,763	
マダコ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網 " タコ壺	平潟	10	392	3,924	
		大津	4	129	450	
		久慈町	8	208	1,660	
		那珂湊	89	654	58,190	
		はさき	340	1,185	402,790	
ミズダコ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	23	100	2,301	
		大津	105	105	11,041	
		久慈町	332	139	46,025	
		那珂湊	43	335	14,386	
ホウボウ	小底5t以上 " 船曳網 " 固定式刺網 " 延縄 " その他釣り	久慈町	10	668	6,680	
		那珂湊	128	644	82,395	
		大津	3	300	750	
		大洗町	62	1,448	89,950	
		那珂湊	81	1,897	153,820	
アナゴ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	19	308	5,859	
		大津	36	303	11,010	
		久慈町	77	353	27,200	
		那珂湊	56	579	32,620	
マアジ	小底5t以上 " 船曳網 " 船曳網 " 船曳網	平潟	348	49	17,113	
		大津	44	170	7,535	
		久慈町	68	104	7,040	
		那珂湊	(28)	267 (山売)	7,470	
サバ	小底5t以上 " 船曳網 " まき網	久慈町	5	78	350	
		那珂湊	9	220	1,915	
		はさき	25,249	72	1,814,410	2
ブリ類	その他釣り	久慈町	2	100	190	
マイワシ	小底5t以上 " まき網 " まき網	那珂湊	60	186	11,100	
		大津	185,912	40	7,348,758	2
		はさき	1,607,699	34	54,984,485	9

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・川尻の東南東10マイル付近から鹿島の東10マイル付近で10~500トンの漁獲。

サバ・・・那珂湊の東10マイル付近から鹿島の東10マイル付近で1~40トン、良い船で50トン~80トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

本ジラス・・・日立地先で28~59kg、大洗地先1~19kgの漁獲。

シラス・・・大洗地先で8~272kgの漁獲。

ノレソレ・・・大洗地先で1kg前後の漁獲。

サヨリ・・・平潟地先から磯原地先で33~165kg(1ヶ統)、日立地先で26~159kg(1ヶ統)の漁獲。

◇曳釣り

平潟地先から高戸地先でヒラメ5~30kg、日立地先でタチウオ10~59kg、久慈浜地先から銚田地先でヒラメ1~20kg、ホウボウ1~35kg、マゴチ1~2kg、タチウオ1~5kg、アイナメ1kg前後の漁獲。

◇手釣り

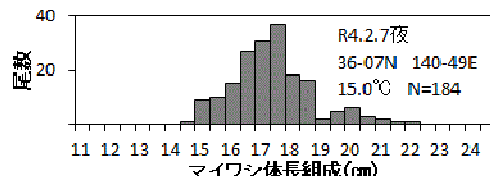
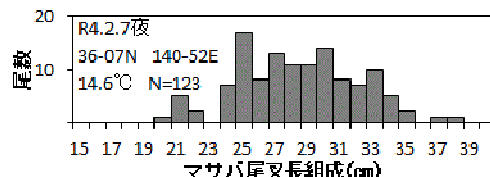
平潟地先でウスメバル16~20kgの漁獲。

◇タコツボ

鹿島地先でマダコ50~250kg、波崎地先でマダコ20~250kgの漁獲。

☆茨城県沖でマイワシ主体の漁が継続(まき網)

1月下旬以降、マイワシは3~8千トン/日、マサバは0.8~2千トン/日の漁獲様相が継続しています。2月7日夜に漁獲されたマサバのサイズは幅が広く、尾丈長は20~38cm、体重は70~800gでした。マイワシのサイズも幅が広く、体長は14.5~22cm、体重は30~120gでした。



注 延隻数:銘柄別隻数 大津、那珂湊の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

ヒラメ漁獲量の動向と稚魚の出現状況

1. 令和3年のヒラメの漁獲状況

茨城県におけるヒラメの漁獲量は H23 年以降増加傾向でしたが、H27 年をピークに減少傾向に転じ、R3 年は 179 トンと R2 年よりやや少なく、H27 年以降で最少となりました(図 1)。

次に、本県沖のヒラメ資源動向の評価指標である沖合底曳網と 5 トン以上の小型機船底曳網の漁獲量から計算した 1 日 1 隻あたりの漁獲量 (kg/日・隻) の推移について、漁獲量が減少してきた H30 年から R2 年の平均と R3 年とで比較すると、冬から春に向けての減少傾向、9 月から冬に向けての増加傾向は類似していますが、特徴として次のことがあげられました：①1 月上旬から 4 月上旬にかけての減少、②4 月下旬から 5 月上旬にかけての増加、③10 月中旬の減少、④12 月の増加。

それぞれの理由については、①は同時期のヤリイカの 1 日 1 隻あたりの漁獲量が過去 3 か年平均より高かったことから、ヤリイカ漁が主体でヒラメ狙いの操業が減少したため、②は①と反対にヤリイカからヒラメに漁の主体が移ったため、③及び④はヒラメの漁場への移動時期が平年と異なったため、と考えられます。

2. 令和3年生まれの稚魚の出現状況

水産資源の動向は、漁獲状況に加えて、産卵量や仔稚魚の生き残りに関わる環境条件等が影響します。当场では 4~12 月に月 1 回、鉾田市玉田沖 (距岸 0.25~2.0 マイル、水深約 6~20 m) で、その年に生まれた稚魚の分布密度を調査しています。今年生まれの稚魚は 1 年後には約 30 cm に成長し、漁獲されるようになります。

R3 年における稚魚の最大分布密度は 6.5 尾/1,000 m² で過去 20 年の最大分布密度の平均値 (11.5 尾) を下回りました (図 3)。稚魚密度の低下により、翌年以降の漁獲加入量が減少する可能性があるため、特に小型魚の漁獲が増える 9 月以降の漁模様に関心したいと思います。

(定着性資源部 水谷宏太)

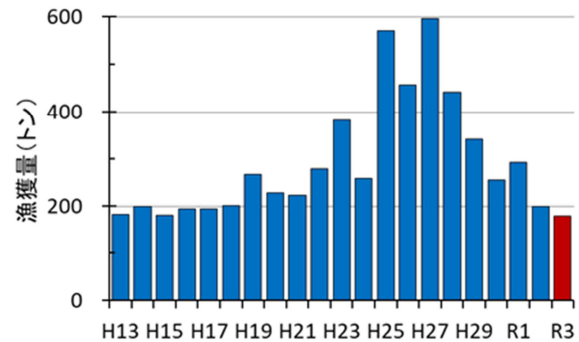


図 1. 過去 20 年の茨城県のヒラメ漁獲量の推移 (1~12 月、属地集計)。

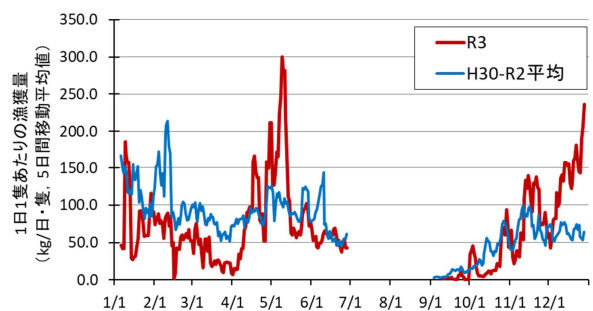


図 2. 茨城県内の底曳網漁船 (沖底+小底 5 t 以上船) における 1 日 1 隻あたりの漁獲量の推移。

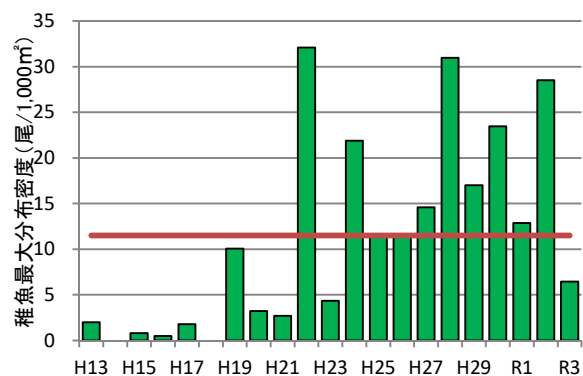


図 3. 玉田沖におけるヒラメ稚魚の最大分布密度の経年推移。横線は過去 20 年の最大分布密度の平均値を示す。